

場所 福島県白河市

面積 23.96ha

活動目的 自然環境保護と環境緑化、さらには地域社会貢献を通じて、地域の方との交流を深め、白河に住友ゴムがあって良かったと喜んでいただける地域に愛される工場を目指している。



サイト概要 1974年8月に操業を開始した住友ゴム白河工場は、福島県白河市の双石広久保（標高約350m）にあり工場スローガンである「自然との調和」「公害を出さない」「地域との密着」の実現に向けて自然環境保護と環境緑化を49年間継続推進している。これらの方針は現代に通ずるものであり、住友の事業精神と共に従業員に引き継がれている。工場内の貯水池では準絶滅危惧（NT）のアサザを保全しており、構内にはカタクリが自生しているところの確認されている。

**土地利用の
変遷**

工場敷地内にある里山「GENKIの森」(14ha)は、2004年に工場用地購入によって拡大された緑地である。白河工場の財産であるこの森は、総務課を中心に整備を行い、生物多様性に富む健康的な森づくりを推進している。必要に応じてクヌギ・コナラなどの落葉広葉樹の植樹を行うとともに、下草刈りや間伐を行う事で明るい森となっている。

**サイト周辺の
環境**

本サイトの周辺も、クヌギ・コナラを中心とした広葉樹林が広がっているが、間伐・下草刈りなどの手間を十分にかけれないため明るい森にはなっていない箇所も多く見られる。

**アピール
ポイント**

住友ゴム白河工場は操業当初から「森に抱かれた工場」をコンセプトとして、豊かな自然に囲まれた工場緑化、「育てる緑化活動」に取り組んでいる。福島県もりの案内人主催勉強会へGENKIの森、工場緑地帯を開放し、地域社会の皆様とも協力しながら森づくりに取り組んでいる。

生物多様性の価値

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】

- ・ 植生を構成する主な樹木は里地里山によくみられるコナラ、クヌギ、オオノキ、エゴノキ等80種類を超えている。
- ・ 工場敷地内には大小多数の水辺があり樹木だけではなく多くの生き物も生息している

【主な植生】

申請区域内の里山GENKIの森における植生は、植樹活動の成果もありコナラ群集が優占している。

工場内にカタクリの群生地が残っている（大規模な群生としては貴重）。他、ヤマユリやリンドウ等の今ではあまり見られなくなった野草類も工場構内及び里山に残っている。

【確認された主な動植物など】

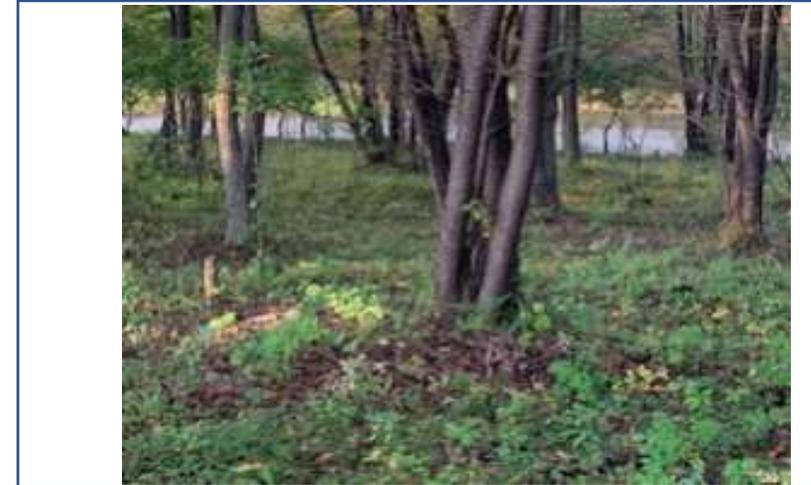
樹木：コナラ、クヌギ、ホオノキ、エゴノキ、ヤマツツジ、ヤマザクラ、コブシ、ヤマグワ、カマツカ、オトコヨウゾメ、ムラサキシキブ、他80種以上

草木類（野草）：カタクリ、ヤマユリ、リンドウ、センブリ、キリンソウ、他80種以上

水生植物：アサザ（準絶滅危惧 (NT))

動物：ニホンリス、ニホンノウサギ、ニホンイタチ、ムササビ、ニホンジカ等

爬虫類：シマヘビ アオダイショウ ニホンカナヘビ



写真の説明：下草刈を実施し、明るい森となっている



写真の説明：カタクリ群生地

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

・工場内の貯水池に準絶滅危惧種のアサザが繁殖している。兵庫県立大学 服部 保名誉教授の指導のもと保全に取り組んでいる。人為的な移入はない。

【確認された希少種】

【名称】 ミツガシワ科・アサザ属アサザ (*Nymphoides peltata*)

・工場敷地内の貯水池という限定的な環境でアサザが繁殖していることが確認され、保全を行っている。

【レッドデータ】 環境省レッドリスト準絶滅危惧種 (NT)

【ライフステージ】 複数年にわたる繁殖の確認済み

【調査手法】 目視



写真の説明：工場内貯水池に繁殖するアサザ

写真の説明：

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
<p>【活動目的】 「森に抱かれた工場」をコンセプトとして「育てる緑化活動」に取り組み、森づくり活動と構内に残る自然を保全しながら、地域社会の皆様と共生していく。</p> <p>【活動内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①GENKIの森(里山)ゾーン：価値(3)、(6) <ul style="list-style-type: none"> 対象：植物、動物（哺乳類） 植樹：毎年年末・年始に植樹本数の集計を実施する。 ②アサザ保全ゾーン：価値(3)、(6) <ul style="list-style-type: none"> 対象：準絶滅危惧種 アサザ(NT) ③カタクリ群生地保全ゾーン：価値(3) <ul style="list-style-type: none"> 対象：カタクリ <p>【実施体制、計画の点検・見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物：2人1組で林内の植物を確認し、植物の記録を取る。春と秋、および毎年開花期に開花の確認を行い、ゾーン全体での繁殖域の状況を写真で記録する。 動物：ニホンジカ、イノシシを中心とした大型哺乳類を中心に目視情報を記録する。 総務課がこれら保全・利用活動その他維持管理作業を行う。 本活動計画の実施、更新及びモニタリング結果分析にあたっては、継続して兵庫県立大学の服部保名誉教授に助言を得て進めていく。 <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>【モニタリング対象】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①GENKIの森(里山)ゾーン：植物、動物（哺乳類中心） ②アサザ保全ゾーン：準絶滅危惧種 アサザ(NT) ③カタクリ群生地保全ゾーン：カタクリ <p>【モニタリング場所】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①GENKIの森(里山)ゾーン ②アサザ保全ゾーン ③カタクリ群生地保全ゾーン <p>【モニタリング手法】</p> <p>植物：2人1組で林内の植物を確認し、確認された植物の記録を取る。 その他、昆虫や両生類など動物の写真記録の作成を進める。</p> <p>【モニタリングの実施時期及び頻度】</p> <p>毎年状況を確認実施する予定。 計画立案については、兵庫県立大学 服部 保 名誉教授に助言をいただいている。</p> <p>【モニタリング実施体制】</p> <p>白河工場総務課のメンバーが中心となり、整備活動及びモニタリングを推進する。 兵庫県立大学 服部 保 名誉教授からのアドバイスを受けPDCAサイクルを回していく。</p>